

「新しい公民館像をめざして」 (三多摩テーゼ)連続学習会

9月18日の第1回学習会には、三多摩のみならず、23区、神奈川、埼玉などからも市民、職員など20人近くが集まり、三多摩テーゼの意義について、大いに議論が交わされました。連続学習会第2回は、公民館運営の基本として掲げた「七つの原則」を取り上げます。

- ①自由と均等の原則
- ②無料の原則
- ③学習文化機関としての独自性の原則
- ④職員必置の原則
- ⑤地域配置の原則
- ⑥豊かな施設整備の原則
- ⑦住民参加の原則



三多摩テーゼが掲げたこの「七つの原則」が、その後の三多摩や全国の公民館運営にどう生かされたのか、あるいは生かされなかったのか。また時代の変容とともに、この「原則」が損なわれていないか、新たに加えるべき「原則」とは?などなど、現在の公民館の状況と照らし合わせながら、検証し議論をしたいと思えます。三多摩各地、その他の地域の社会教育関係者とつながりながら、学習会を行います。ぜひご参加ください。可能な限り連続してご参加ください。

<第2回学習会>

日時 11月23日(木・祝日) 午後1時30分～4時

会場 国分寺市立本多公民館会議室2 (2階)

テーマ: 公民館運営の基本 七つの原則

<話題提供> 東大和市公民館開館20周年記念ビデオ「公民館ってなあに?」上映
「三多摩テーゼ」が守った公民館存続の危機

<3回目以降の予定>

【第3回】1月8日(月・祝日) 午後 テーマ: 公民館職員の役割

2024年3月 50周年記念事業

申込み 松田 090-8317-4237 E-mail: santama.syakyo@gmail.com

※事前に「三多摩テーゼ」を読んでご参加ください。三多摩テーゼが手元にないという方は、申込み時にメールアドレスを教えてください。データで送信します。

◆主催 社全協三多摩支部 ◆協力 国分寺・社会教育の会